

ドローン × ものづくり = それは、府中市です

府中市はものづくりのまちと呼ばれるほど、多種多様な産業が集積しています。そして、その中には、無人航空機を製造する企業もあります。しかし、人口減少が進むなか、市内の事業所の数も減ってきています。そういった中、人材育成、若者が集う場所、地域産業の成長にもつながる無人航空機に関連する大学を府中市に誘致しようとする、市内企業の若手を中心に、ふちゅう大学誘致の会が設立されました。

この会の活動により、市内で全国ドローン選手権広島大会が開催されるなど、府中市でドローンに触れることのできるさまざまな機会が確実に増えてきています。

DDD.L a b oは、府中市から補助金を受けたふちゅう大学誘致の会がドローンに特化したものづくり工房として運営し、トイドローンの体験教室などのワークショップも行っています。今までドローンを扱ったことがない人でも、直に触れ、身近に感じることができる、こういったラボでの体験が、ドローンへの興味・関心を引き出し、府中市に、無人航空機に関連する大学を誘致する裾野を広げる活動としての一翼を担うと考えています。



府中市長、ふちゅう大学誘致の会のメンバー、オープンイベントに集まった子どもたち

ふちゅう大学誘致の会のこれまでの歩み

- 平成28年 7月 地域の発展の中心となる高等教育機関を誘致し、地域に新たな産業や文化を生み出すため発足
- 平成29年 5月～10月 大学誘致活動への賛同署名活動
- 5月～8月 航空技術大学誘致に向け、企業説明会や勉強会を開催
- 平成31年 1月 世界初、市内のお寺での日本ドローン協会公式レースおよび空撮コンテストを開催
- 平成31年 2月 ドローンを使ったAED輸送の実証実験を実施
- 4月 府中東高校でドローンパイロット養成講座を開始
- 令和元年 6月 全国ドローン選手権2019の広島大会を市内で開催
- 8月 DDD.L a b oを開設

※市内イベントで、大学誘致活動の紹介やドローン体験会などを実施している。



ドローンパーツなどのものづくりが最先端機器でできる工房



この真剣なまなざしが語るDDD.Laboの魅力

「ドローン」という言葉を聞いたことがない人は、ほとんどいないと思います。ゲーム機のようなコントローラーを使い、ラジコンヘリコプターを操作するよりも簡単に操れ、見たこともないような映像を撮影したり、確認したりできる無人航空機のことです。

誰でも購入しやすい数千円程度のものから、長時間飛行可能なもの、物の移動を可能にしたものなどその用途やバリエーションはさまざまあります。

今ドローン業界は、急速に成長・拡大し続けており、近い将来私たちの生活に大きく関わってくる分野になるでしょう。そんな中、先日オープンしたDDD.L a b o (スリーディーラボ)では、まずドローンに触れることで、興味・関心を持つてもらうため、さまざまなドローンの中でも、初級にあたるトイドローンの操縦教室を行っています。実際にドローンを操縦し、体験してみることで、人生のターニングポイントになるかもしれない。

全国には、プロのドローンレーサーが存在し、全国のドローン選手権広島大会が府中市で開催されるなど、全国的な機運の高まりと共に、府中市内での認知度のさらなる向上を目指しています。

その中心的な役割を担っているのがDDD.L a b oであり、いつでも、誰でも予約さえすれば、ドローンに触れることができる場所が府中市にできたこと。府中市の子どもたちにとって、先端技術に触れる場所ができたこと。その結果として、先端技術を身近に育った子どもたちが、ものづくりの分野でも活躍し、将来にわたり、日本、そして府中のものづくりを継承、進化させていく人材となることを期待されます。

それが実現するのは、5年後か、10年後か、または1年後かもしれない。いつになるかはだれも分かりませんが、日々、子どもたちは、楽しみながら、ものづくりへの興味を増しています。

「ドローン」という言葉を聞いたことがない人は、ほとんどいないと思います。ゲーム機のようなコントローラーを使い、ラジコンヘリコプターを操作するよりも簡単に操れ、見たこともないような映像を撮影したり、確認したりできる無人航空機のことです。

誰でも購入しやすい数千円程度のものから、長時間飛行可能なもの、物の移動を可能にしたものなどその用途やバリエーションはさまざまあります。

今ドローン業界は、急速に成長・拡大し続けており、近い将来私たちの生活に大きく関わってくる分野になるでしょう。そんな中、先日オープンしたDDD.L a b o (スリーディーラボ)では、まずドローンに触れることで、興味・関心を持つてもらうため、さまざまなドローンの中でも、初級にあたるトイドローンの操縦教室を行っています。実際にドローンを操縦し、体験してみることで、人生のターニングポイントになるかもしれない。

全国には、プロのドローンレーサーが存在し、全国のドローン選手権広島大会が府中市で開催されるなど、全国的な機運の高まりと共に、府中市内での認知度のさらなる向上を目指しています。

その中心的な役割を担っているのがDDD.L a b oであり、いつでも、誰でも予約さえすれば、ドローンに触れることができる場所が府中市にできたこと。府中市の子どもたちにとって、先端技術に触れる場所ができたこと。その結果として、先端技術を身近に育った子どもたちが、ものづくりの分野でも活躍し、将来にわたり、日本、そして府中のものづくりを継承、進化させていく人材となることを期待されます。

それが実現するのは、5年後か、10年後か、または1年後かもしれない。いつになるかはだれも分かりませんが、日々、子どもたちは、楽しみながら、ものづくりへの興味を増しています。